

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	生物学1						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	神武 洋二郎						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の分類、進化や遺伝の法則について説明できる。 ・真核生物と原核生物の細胞構造と機能を説明できる。 ・細胞が活動するために必要なエネルギー産生機構を説明できる。 ・遺伝子の情報からどのようにしてタンパク質ができるかを説明できる。 ・細胞がまわりの環境からどのようにしてシグナルを受け取っているかを説明できる。 						
日程と内容	4/10：導入講義、授業の進め方、概要説明、成績評価法。 4/17：生物学の基本-進化・分類学- 4/24：生物学の基本-遺伝の法則・生物体の階層性- 5/1：細胞の構造と構成物質 5/8：細胞小器官と細胞膜の構造と機能 5/15：エネルギー産生機構-解糖系・TCA回路・電子伝達系 5/22：エネルギー産生機構-葉緑体による光エネルギーの固定 5/29：遺伝子の本体であるDNAの構造 6/5：セントラルドグマ-DNAからタンパク質へ- 6/12：タンパク質の機能-運搬・シグナル伝達・細胞骨格- 6/19：タンパク質の機能-筋収縮・転写制御- 6/26：細胞間の情報伝達（1） 7/3：細胞間の情報伝達（2） 7/10：最新の生物学研究の動向 7/17：定期試験 7/24：講評						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	30%					
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の分類、進化や遺伝の法則について説明できる。:達成した ・真核生物と原核生物の細胞構造と機能を説明できる。:達成した ・細胞が活動するために必要なエネルギー産生機構を説明できる。:達成した ・遺伝子の情報からどのようにしてタンパク質ができるかを説明できる。:達成した ・細胞がまわりの環境からどのようにしてシグナルを受け取っているかを説明できる。:達成した 						
反省点	説明が分かりやすいというコメントがあった反面、説明が分かりにくいというコメントもあった。これは、高校時代に生物学を履修していたか否かに起因すると考えられる。基本的内容の説明を省略しないように、授業内容を改善する必要がある。						
来年度の計画	高校時代に生物学を履修していなかった学生に配慮して、用語の解説や予習復習の説明等に時間を割く。自己学習を促すため、教科書内容にとどまらず、最新の生物学分野の知見を紹介する。						
授業評価アンケートに対するコメント	特になし						
履修登録者数	67名	定期試験 受験者数	67名	合格者数	65名	合格率	97%